

中標津町郷土館だより 第19号

中標津市街の今昔

発行:平成20年1月31日
 発行所:中標津町教育委員会
 標津郡中標津町丸山2丁目22番地
 電話:教育委員会 (0153-73-3111)
 郷土館 (0153-72-2190)
<http://www.nakashibetsu.jp/kyoudokan-web/index.htm>



【殖民軌道の停留所】

大通北1丁目付近
 昭和2年撮影

鉄道の開通以前、人と物資を運搬し、根室原野開拓に大きな力を発揮した殖民軌道。中標津停留所のような。

※厚床～中標津間(大正14年開通)は日本初の殖民軌道です。



【中標津大橋】

昭和8～12年頃撮影

殖民軌道のガソリン機関車が標津川の橋を通過中。今使われているこの橋は、もともと殖民軌道用で、人は東1条にあった橋を渡っていました。



【別所式プラウ】

大通南1丁目付近
 昭和12年頃撮影

満州開拓義勇軍訓練所に納入の際に撮影。岩田式プラウと並び、反転力抜群のプラウでした。

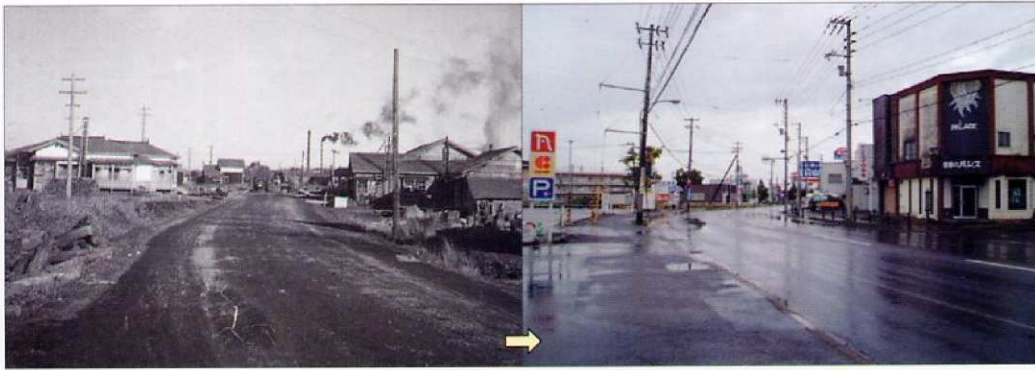
※プラウは土をおこす農機具です。



【出征アーチ】

旧駅前通り
 昭和13年頃撮影

日中戦争初期。右より西村宅、吉田運送店、小泉写真館が見える。当時3軒あった運送店は標津線全通に伴い統合、後に日通だけとなりました。



【東8条から東方向へ】

東8条付近
昭和24年撮影

有線放送(NRK)の電線は電柱に並架されていました。煙が出ているのは北海道酪農協同株式会社(雪印乳業の前身)で、当時は市街地の一番端にありました。



【町制施行直後】

西1条北1丁目
昭和25年頃撮影

消防番屋(旧郵便局のあたり)の火の見やぐらから東方向を写しています。写真中央右側の大きな建物(4本の煙突)は病院です。



【旧電報電話局】

東1条北2丁目付近
昭和30年頃撮影

昭和28年に中標津電報電話局が新築されました。西2条北2丁目に新築移転後は図書館として平成7年まで使われました。



【旧中標津保健所】

西4条北1丁目
昭和30年代に撮影

昭和25年に建設された保健所は昭和42年に現在地に移転しました。その後、建物は阿寒バスの営業所としても使われました。



【中央橋の渡初式】

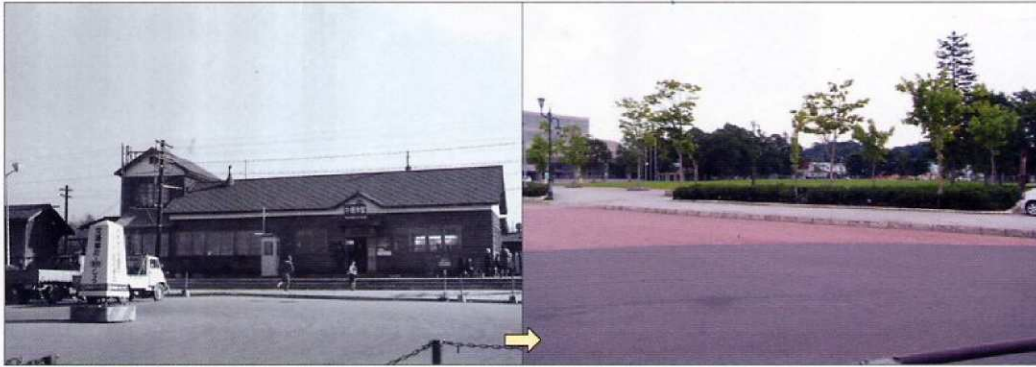
東2条と東3条の境
昭和35年10月撮影

タワラマップ川の護岸改良工事にあわせて架け替えられ、「俵真布橋」から「中央橋」と改称。渡橋式には名誉町民佐藤甚平氏親子3代が渡り初めをおこないました。



【交通安全の日】

東4条南1丁目付近
昭和35～37年頃撮影
昭和37年まで続いた交通安全の日のパレードのようす。
古い農協の建物(写真中央よりやや奥の大きな建物)も見えます。



【初代中標津駅】

中標津町交通センター付近
昭和37年頃撮影
昭和9年から昭和43年まで使われた駅舎です。
駅前広場は市街地で最初に舗装されました。



【丸五スーパー建設中】

東1条北1丁目付近
昭和38年頃撮影
交差点の右側に丸五スーパーが建設中。
その道路向かいには生協がありました。
正面の山は侯落岳。



【駅前広場】

中標津町交通センター付近
昭和40年撮影
開町20周年記念式典後におこなわれた、中標津小学校生徒による旗行列。
正面の建物は中村屋旅館。



【市街地の中心部】

東2条から東1条付近
昭和40年代に撮影
古くから中標津市街地の中心部。
たくさのんお店が並んでいます。



【駅構内】

東2条南3丁目付近
昭和43年秋以降に撮影
中標津駅は昭和9年に開
駅しました。
2代目の駅舎と跨線橋の
新設は昭和43年11月21
日でした。



【役場庁舎と石碑】

東7条公園内
昭和40年代に撮影
役場は昭和55年に現在の
丸山へ移転しました。
現在は開拓功労者である
乾定太郎氏の石碑だけが
残っています。



【役場からの眺望】

丸山公園周辺
昭和55年以降に撮影
役場の展望室からのよう
す。
丸山公園の駐車場は舗装
化されておらず、街路樹も
植えたばかりのようです。



【出初式へ】

東7条通り
昭和60年前後に撮影
1月、消防署員が毎年恒例
の出初式(でぞめしき)に
向かうところです。



【市街地上空】

左:昭和53年に撮影
※国土交通省
「国土画像情報観覧システム」
cho-78-3-c29b.6
右:平成12年に撮影
22年間でどれだけ変わっ
たのか探してみてください。